

第37回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われました

第37回全国消防殉職者慰霊祭が、9月13日(木)日本消防会館 ニッショーホールにおいて、内閣総理大臣代理西村内閣官房副長官、野田聖子総務大臣、小此木防災担当大臣をはじめとする多くのご来賓並びにご遺族、全国消防関係者のご参列のもと執り行われました。

日本消防協会旗の入場、開式の言葉の後、秋本会長の「御霊の奉納」の儀、黙祷、秋本会長の式辞につづき、内閣総理大臣、総務大臣およびご遺族代表から「追悼のことば」をいただき、その後、ご遺族、ご来賓等参列者の皆様による献花が行われ、厳粛のなかに式典が執り行われました。

本年は、6柱の御霊が新たに合祀され、明治5年からの消防殉職者等の御霊は5,757柱となりました。

本県からは、ご遺族代表者5名と会長及び事務局職員が参加し、先人の遺徳を偲び、感謝申し上げるとともに、施設の充実や訓練の徹底などに尽力し、再び殉職者を出さないよう全国から参加されたご遺族や協会役職員一同、殉職事故の絶滅への決意を新たにいたしました。





内閣総理大臣代理西村内閣官房副長官



野田総務大臣



鎮魂の歌（木遣り）（一社）江戸消防記念会



献花



秋本日本消防協会会長あいさつ